

## 1 事業の成果

学童保育事業は9年目。少人数で家庭的な環境や地域との密接な関わりなどを求めて当団体を選択するご家庭の期待に応え、共働きで時間に追われながら小学生の子育てに奮闘する保護者が少しでも気持ちにゆとりをもち、安心して子どもたちと向き合えるよう努めている。活動の様子を会員専用SNSで日々発信して充実した保育内容の見える化を意識し、メール内容やお迎え時の声掛けに配慮するなど、子育て経験豊富なスタッフの多い団体の強みを生かした運営を、スタッフ全員が常に意識して取り組んだ。

一方で、次世代の育成にも積極的に参加している。今年度は特に高校生や中学生の主体的な学びの機会やNPOセンターや社会福祉協議会からの学生ボランティアの依頼も引き受けた。奔放な子どもたちに翻弄されつつ、子どもが地域で見守られて育つ意義を実感したという意見が目立った。

フリースクール事業は、今年度も神奈川県教育委員会からの委託事業で居場所づくりや学校連携に力を入れ、神奈川県青少年センターから委託を受け相談事業を実施してきた。また、不登校情報ポータルサイト「キミイロ」の運営に取り組み、代表が県立総合教育センターの助言者会議に参加し、教員への研修講師として協力した。

市内では、2年目となるドコモ市民活動助成金を活用し、教育委員会と協働で市内中学校の校内フリースペース活用事業の伴走支援に取り組んだ。また、今年度も鎌倉市エンパワーメントプロジェクトの地域コーディネーターの仕事を受託し、これまで取り組んできた不登校と教育格差の問題に加え、生活保護世帯や就学援助世帯の子どもたちの体験格差という課題についても法人として関わった。6~7月に実施した奨学金制度立ち上げのためのクラウドファンディングでは、908,000円の支援を得た。また、オリックス宮内財団の子ども食堂応援プロジェクトの助成にて、地域の飲食店のシェフに料理の提供をしていただき、月1回の地域食堂を開催した。生活困窮世帯のみならず、地域で不登校の子どもを支援する様々な職種の大人が集い、福祉的なセーフティネット形成にも貢献する活動として定着しつつある。

次年度は、奨学金制度をスタートさせ、神奈川県との協働で取り組んできた不登校情報ポータルサイト「キミイロ」の5周年記念の展示会を開催、「キミイロ」運営継続のためのクラウドファンディングを実施予定である。さらに、団体の基盤強化のための法人寄付にも着手する。引き続き、子どもが真ん中の居場所づくりを継続し、子どもたちが自分の居場所や学びの場を選択できる社会の実現に向けて活動していきたい。

## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① 放課後児童健全育成事業

##### (ア)

- ・内容 放課後児童健全育成事業
- ・日時 通年
- ・場所 鎌倉市常盤145「ふかふか」
- ・従事者人員 学童保育施設運営 年285日開所 28人
- ・受益対象者 乳幼児 小中学生 その保護者  
学童保育施設運営 年285日開所 登録児童数23人  
ワークショップ 39回 延べ5,450人
- ・支出額 14,670,516円

##### (イ)

- ・内容 放課後児童クラブ支援事業
- ・日時 通年
- ・場所 鎌倉市常盤145「ふかふか」
- ・従事者人員 年285日開所 28人
- ・受益対象者 乳幼児 小中学生 その保護者  
年285日開所 登録児童数 23人 延べ5,450人
- ・支出額 1,812,600円

#### ② フリースクールに関する事業

- ・内容 フリースクール事業、ワークショップ、地域食堂
- ・日時 通年
- ・場所 鎌倉市常盤145「ふかふか」及びその周辺
- ・従事者人員  
フリースクール事業 年184日開所 21人  
ワークショップ 238回 21人  
地域食堂 11回 2人
- ・受益対象者 小中高生 その保護者  
フリースクール事業 年184日開所 延べ913人  
ワークショップ 238回 延べ820人  
地域食堂 11回 延べ349人

神奈川県フリースペース等相談事業費補助金による相談事業はオンライン・電話を含めて年193日実施した。

・支出額 8,860,642円

- ③ プレーリーダー、造形活動等に関する事業
- ④ その他この法人の目的を達成する上で必要な事業

①②において、法人全体の運営戦略を検討する「riseプロジェクト」を実施。  
スタッフ7~8人による月1~2回の定期的な会議の場を設け、事業・財源・組織の基盤づくりに取り組んだ。

③については①②において実施、④については特に実施しなかった。

以上